

トリナ・ソーラー 1500V PV システム化に対応した 1500V モジュール製品を発表

2017年5月25日、太陽電池、ソリューション、サービスを提供する太陽光発電の統合企業の Trina Solar Limited (「トリナ・ソーラー」または「当社」)の日本支社であるトリナ・ソーラー・ジャパン株式会社(「トリナ・ソーラー」)は、直流電圧 1500V の太陽光発電システム向けのモジュールを同社製品セミナーにて発表しました。

トリナ・ソーラーがこれまでに市場に導入してきたフレームレス両面ガラスタイプの『DUOMAX』シリーズのモジュールは、発売当初から 1500V 仕様でしたが、低下する FIT 価格に対応する設置コスト削減策として今後主流になって行くことが見込まれる直流電圧 1500V 仕様の太陽光発電所建設向けに、従来のフレームタイプの単結晶・多結晶の 1500V 仕様のモジュールをラインアップに加えました。

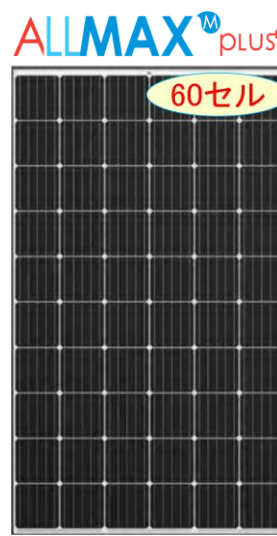
アメリカやインド、中東・南アフリカにおいては 1500V PV システムは既に導入が進んでおり、今後各国で採用が進む見込みです。日本でも 1500V PV システムの導入が始まっており、2017 年後半から 2018 年にかけて導入が加速すると予想され、2020 年には 1MW 以上のプロジェクトのうち 90%を 1500V PV システムが占めると言われています。

日本においては、直流電圧 1500V に対応するパワーコンディショナの導入が他国に比べて遅れていたため、これまでは 1000V の発電システムが主流でしたが、最近の 1500V 対応機器の市場導入により、太陽電池モジュールも 1500V の使用が可能になりました。1500V まで高電圧化が可能になったことで、太陽光モジュールの直列接続枚数を増やすことができ、結果、電力損失を減らしてシステム効率を向上させます。また、接続箱の台数や、送電ケーブル長を減らすことができるため、導入コスト、ランニングコストを低減させます。

今回、トリナ・ソーラーは、1500V 対応製品として既に発売済みのフレームレス両面ガラスタイプの『DUOMAX』シリーズや『DUOMAX twin』に加え、従来のフレームタイプの 60 セルおよび 72 セルの 1500V 仕様の多結晶モジュール『ALLMAX』や『TALLMAX』、単結晶モジュール『ALLMAX M plus』や『TALLMAX M plus』の幅広いラインナップを発表しました。トリナ・ソーラー・ジャパン株式会社 Chen Ye 代表取締役社長は、「これらの製品は、アメリカ・ヨーロッパでは、既に大規模太陽光発電所に導入済みです。今後、日本でも大規模太陽光発電所開発では、今回ご紹介したモジュールが皆様のビジネスに大きく貢献できると信じています」と語りました。



「ALLMAX」(多結晶)
 モジュール寸法: 1650×992×35 mm
 重量: 18.6 kg
 出力: 270 - 280W
 最大変換効率: 17.1%
 保証: 10 年製品保証、25 年リニア出力保証



「ALLMAX M plus」(単結晶)
 モジュール寸法: 1650×992×35 mm
 重量: 18.6 kg
 出力: 280 - 305W
 最大変換効率: 18.6%
 保証: 10 年製品保証、25 年リニア出力保証

■Trina Solar Limited (トリナ・ソーラー) について

トリナ・ソーラーは、太陽光モジュール、ソリューション、サービスを統合的に提供する太陽光発電トータルソリューションビジネスのグローバルリーダーです。1997 年に太陽光システムインテグレーターとして設立以来、世界中の施工店、販売店、ディベロッパーなどのパートナーの皆様と共に、スマートエネルギーの推進に努めています。より詳しい情報は、www.trinasolar.com でご確認ください。

【本件に関するお問合せ】

トリナ・ソーラー・ジャパン株式会社 プレス担当: 春日(マーケティング)
 TEL.03-3437-7000 (受付時間: 月～金 ※祝日を除く 9:00～18:00)